



平成 24 年 5 月 11 日

各 位

株式会社レオパレス 2 1
代表取締役社長 深山 英世
(コード番号 8 8 4 8 ・東証第一部)
問合せ先責任者
経営企画部広報グループ部長
宮尾 文也
TEL 03-5350-0216

新中期経営計画『Creating Future』の策定について

本年は当社創立 40 周年に当たりますが、当社グループでは、本年 4 月より 3 ケ年の新中期経営計画『Creating Future』をスタートさせましたので、お知らせいたします。

新中期経営計画『Creating Future』では、現下の事業環境を見据えた上で当社グループの目指すべき姿を明確にし、賃貸事業と建築請負事業というコア事業を主軸に強固な経営基盤を築き上げて参ります。また、今後将来の当社グループの成長に資する新たな事業を確立し、新たな社会価値の創造を目指して参ります。

記

1. 新中期経営計画『Creating Future』の基本方針

「賃貸事業と建築請負事業の収益バランスを取った安定的な収益構造の確立」

- (1) ストックビジネス（賃貸事業部門）を中心に据えた収益体質の確立
- (2) コア事業を主軸としたグループ収益の最大化
- (3) ノンコア事業の収益管理体制の構築
- (4) 低コスト構造の維持と、戦略的コストの選択と集中
- (5) 新たな社会価値を創出する施策の実行と、新事業の創出による成長の追求

2. 当社グループの目指すべき姿

(1) コーポレートビジョン

「新しい価値の創造」という企業理念に則り、

- ① 時代のニーズをしっかりと見据えながら、柔軟な発想と活力のある全員参画のチームワークで当社にしかできない新しい価値を創造すること
- ② お客様の喜びを自らの喜びとし、常に商品・サービス・技術を進化させ企業として成長し続けること
- ③ 業界のリーディングカンパニーとして、より快適な暮らしと豊かな社会づくりに貢献し、社会全体に新しい価値をもたらすこと

(2) コーポレートスローガン

レオパレス 2 1 は、未来志向でお客様とともに新しい価値を創造してまいります。

3. 計画期間

2012 年 4 月から 2015 年 3 月までの 3 年間を計画期間とします。

4. 数値計画（連結）

(億円)	中期経営計画期間（2013/3期～2015/3期）			
	2012/3期 (実績)	2013/3期 (計画)	2014/3期 (計画)	2015/3期 (計画)
売上高	4,594	4,639	4,674	4,765
営業利益	45	80	141	169
経常利益	23	61	122	151
当期純利益	15	55	110	135
純資産	338	428	580	765
自己資本比率	12.8%	17.0%	23.1%	29.5%
ROE	4.7%	14.3%	21.8%	20.0%
EPS（円）	9.0	29.2	54.2	62.4
ROA	0.6%	2.2%	4.4%	5.2%

5. 事業戦略

(1) 賃貸事業

- i) チャンネル戦略に基づくFCを含めた店舗体制の構築
- ii) 法人営業のさらなる強化（事業法人、学校法人、医療法人等）
- iii) 顧客ニーズ取込に向けた諸施策の実行
- iv) 管理コスト等の原価逓減

(2) 建築請負事業

- i) エリア戦略に基づくアパート新規供給
- ii) 高品質且つ時代のニーズを先取りした戦略的商品の投入
- iii) 事業用建物の建築請負の推進

(3) 関連事業（ホテル・リゾート事業、シルバー事業、その他事業）

- i) グループ内の連携強化による収益最大化と効率化
- ii) 稼働率向上とコスト追求

6. 財務戦略

- (1) キャッシュフロー重視の経営
- (2) 持たざる経営への原点回帰の継続
- (3) 財務体質の健全性強化（自己資本比率29.5%、ROA 5.2%）

7. CSR 経営の推進

当社グループでは以下の4つの基本方針を定めて、「事業を通じて企業市民として持続可能な社会づくりへの貢献」を推進しております。

- ① 良質なサービスと豊かな暮らしの提供
- ② 健全で透明性の高い事業活動
- ③ 地域社会への貢献と良好な職場環境
- ④ 地球環境にやさしい社会の実現

※当リリースに記載されている予想・見通しは、種々の前提に基づくものであり、将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証したりするものではありません。実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる場合があることにご留意下さい。

以上